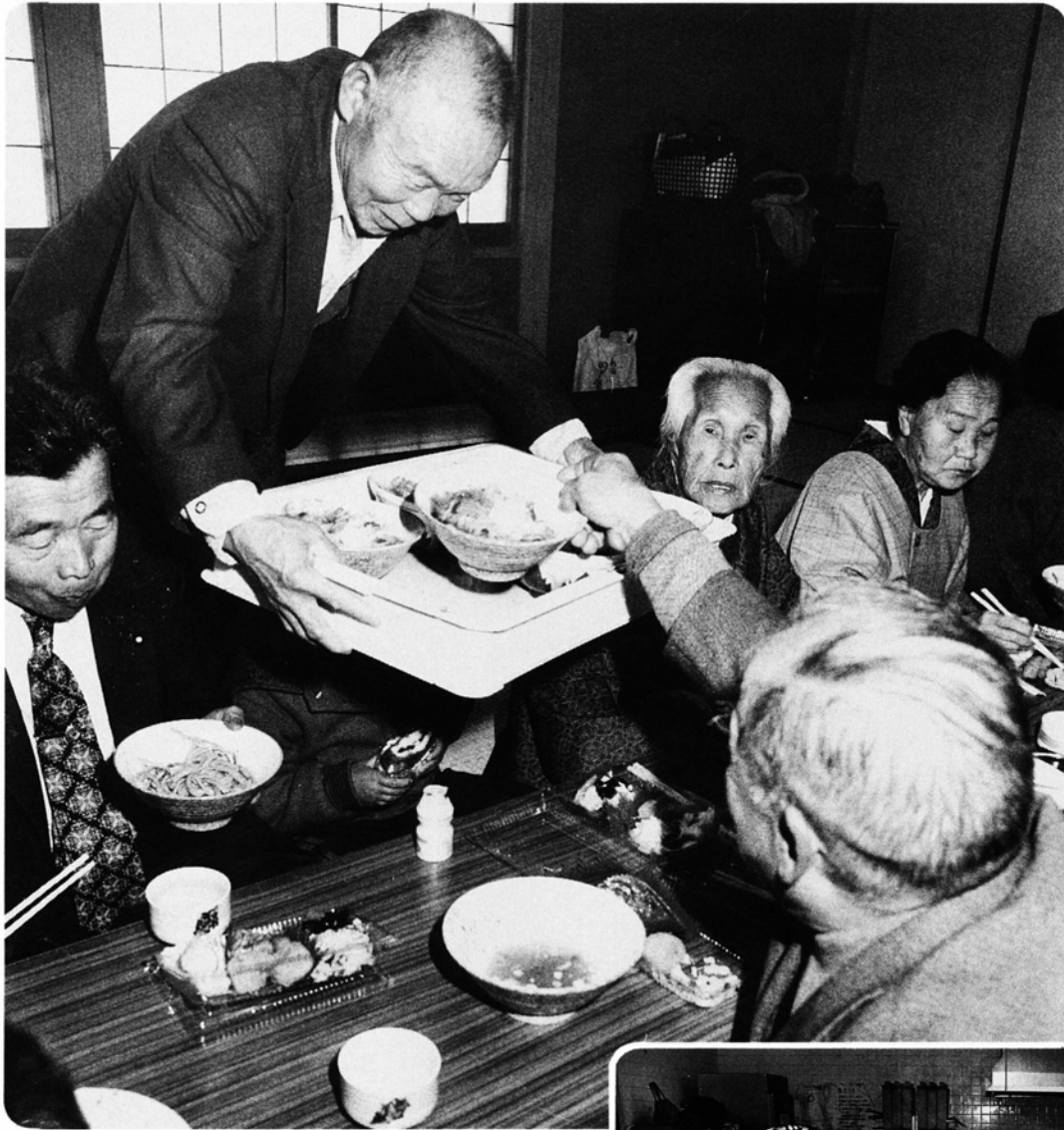


## 収穫と健康に感謝

小山福寿会が  
「報恩そば会」



小山地区のお年寄りでつくる小山福寿会（大谷武夫会長、会員約350人）は、11月25日に小山公民館で「報恩感謝そば会」を開きました。

このそば会は、昭和48年から続いている伝統行事で、食べるそばはすべて、会員自らが手塩にかけて育て、おばあちゃん会員が丹精込めて打ったもの。そばには、大根おろしにネギ、ショウガ、かつお節がたっぷり入ったあつあつのおつゆがかけられ、雪の降る中を集まってきた会員のもとへ。中には3杯も食べる達者な人もいて、汗して働き、そして得た収穫と健康を目いっぱい味わっているようでした。



宝慶寺  
開山

# 寂円禅師、760年ぶりに故国へ

## 訪中国が日中に新たな架け橋

宝慶寺開山・寂円禅師里帰り訪中団（団長・山内市長、88人）は11月6日から8日間、禅師のふるさと・洛陽や修行の地・寧波の天童寺などを歴訪、特に青年僧・寂円と道元が会い、共に修行を積んだ天童寺では日中合同の大法要が営まれました。また、訪中団一行は行く先々で歓迎を受け、寂円禅師760年ぶりの里帰りは日中友好にも大きな成果を収めました。そこで、今回の訪中の感想を4人の方からお聞きしましたので、ご紹介します。



寂円禅師座像(写真提供=宝慶寺)

### “里帰り”は一生の思い出

宝慶寺住職

北野良道師



寂円さんが修行した天童寺とこの地に開いた宝慶寺とを結ぶ

ことは、かねてから私の念願でした。これまでも2度、天童寺を訪れていますが、今回は寂円さんの御骨仏のお供が

でき、生涯の思い出となりました。初めて天童寺を訪れた時は、文化大革命(1966年～76年)が終わって間もないころで、お寺は荒れ果てていました。それが今ではきれいに修復されて

いました。中国は禅宗の始祖・達磨大師の国で禅宗のルーツですが、この国の時代を反映してか、座禅はあまり盛んではないようでした。お寺全体の雰囲気も、厳しい修行の場というよりも、世間に開け放たれた場所になって

いました。ともあれ、寂円さんが来日してから今年で760年。「国へ帰りたい」という遺言をようやくかなえてあげられました。天童寺では、道元さんの石碑の隣に寂円さんの木碑を建ててきました。やがて石碑を

建てることとなりますが、私はもう80歳近いから、再度訪中できるかどうか……。けれど、座禅堂の再建(61年10月)と寂円さんの里帰りという大きな仕事を成就できました。お世話になった各方面の皆さんにお礼申し上げます。

### 新たな日中友好の契機に

市日中友好協会長

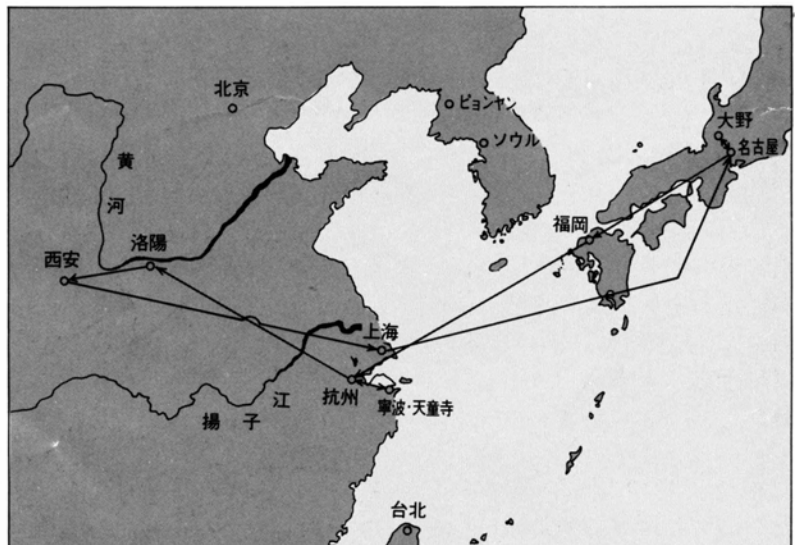
安田武雄氏



市日中友好協会が初めて訪中したのは、7年前の昭和56年4月でした。当時

の会長は故高田新左エ門氏でしたが、その時も寂円禅師ゆかりの地寧波や洛陽などを訪ねました。

当時は寂円禅師の遺徳をしのぶため、寧波の天童寺に記念碑を建立しようという声が出ていたのですが、そのころは文化大革命で破壊されたお寺の建物や仏像などの修復を始めたばかりでもあり、記念碑建立はかなりの難事業でした。それが今回、寂円禅師里帰り訪中団の手で、天童寺境内に「宝慶寺開山寂円禅師修行霊蹟」と墨書さ





天童寺修行僧の出迎えを受ける訪中国(写真提供=中田新聞社)

れた木碑を建てられたことは、本当に喜ばしいことです。さらに2年後には、この木碑を石碑に建て替える約束もできました。

道元禅師、寂円禅師ともに日中両国にその足跡を残し、仏教を通じて今日新たな日中友好のきっかけとなりました。国と国とのつながりは、永い歴史の流れの中でも風化しない、体制を超えた人と人とのつながりだといえます。

協会では、石碑建立のため、2年後再び訪中する予定です。そして今後とも、機会あるごとに人と人との交流を積み重ねていきたいと考えています。

## 亡き夫の願いをかなえて

御給・高田ふさ系さん



天童寺で寂円さんの法要が営まれたあの日はとっても寒い日でした。

法要が無事すんで、私は主人(故高田新左衛門市議・前大野市日中友好協会々長)の写真を胸に抱いたままお堂を出ました。その時私は思わず、胸の写真に「おじいちゃん。よかったの」とつぶやきました。

主人も私も初めてここを訪れたのは7年前です。それ以来主人は

中国と寂円さんの眠る宝慶寺の交流を願って奔走していました。志なかばにして亡くなった主人に、私は心から「よかったの」と報告したのです。ちょうどその時、白いチョウが飛んできて私の胸に止まり、しばらくして日の光に照らされながら大空へ舞って行きました。私にはこのチョウが主人のなりかわりのように思えて涙ぐんでしまいました。

中国では水が少なく、風呂に入るのにも時間制限がありました。駅ではやかんと金だらいを持って顔を洗うための水を売る人がいました。山の木も少なく、日本とはだいぶ違うようでした。その点、大野はうまい水があって、本当にいいですね。



天童寺境内に建てられた木碑(写真提供=中田新聞社)

## 歴史と文化の違いを実感

春日3・松森はるのさん



名古屋空港での結団式で、北野住職さんは、寂円禅師の里帰りが実現した喜

びを涙して語られました。私もこれを聞いて、お供できて本当によかったと思いました。

大陸へ第一歩を踏み出して感じたことは、まず人が多いこと。道路に人があふればかりでした。次にほこりっぽいこと。雨や緑が少ないのでしょうか。そして夜は暗いこと。バスの中は真っ暗だし自転車は無灯火です。ここに来て初めて自国のありがたみを感じましたし、日本の使い捨て文化を考えると、反省しなければと思いました。

中国では一人っ子政策をとっているとのこと。龍門石窟では、遠足に来た子供たちと出会いましたが、どの子も美しい服装で、かわいらしく、とても大事に育てられているようでした。秦の始皇帝の兵馬備も見学しましたが、どの遺跡もスケールの大きさには圧倒されました。そして何よりも、歴史の重みをズッシリ感じる国でした。ただ上海で、魯迅先生の墓を訪ねられなかったのは心残りでした。

# 冬の暮らしは除雪から 皆様のご協力をお願いします

福井地方気象台が10月20日発表した来春3月までの寒候期予報によれば、この冬は冬型の気圧配置になる日が多く、大雪のおそれがあるとのこと。市や県では、冬将軍に備えて万全の態勢で臨みます。除雪は、交通量が多い幹線道路やバス路線、通勤・通学路などを優先し、午前3時ごろから一斉に開始されます。

スムーズな除雪をするには、市民の皆さんの協力が必要不可欠です。どうぞこの冬も次のことにご協力ください。

## 路上駐車は除雪の最大の敵。 場合によっては強制撤去も。

道路に車が放置されていると、そこから先が除雪できないときもあります。昼夜を問わず、路上駐車はやめましょう。もし、除雪車が違法駐車のを傷つけても、市や県では責任を負いません。場合によっては、警察署により強制撤去されます。ご注意ください。

## 市街地での雪おろしは一斉に行い、後始末も速やかに。

町内でよく話し合い、計画的に行ってください。おろした雪は流雪溝や最寄りの雪捨て場へ。市街地に近い雪捨て場としては、赤根川橋(篠座)と亀山橋(老人センターの下)の2カ所あります。

## 流雪溝への雪捨ては、入れ過ぎて水があふれないように。



一度に多量の雪を詰め込まず、「急がば回れ」の気持で、適量を順次流すようにしてください。

流雪溝への転落事故を防ぐため使用中は赤布などで目印をし、使用後は必ずふたをしてください。

## 火事に備えて消火栓や防火水槽の周りの除雪も忘れずに。

万一、火事が起きた場合、いくら道路が除雪されていても、水がなければどうにもなりません。いつでもハッキリ分かるよう目印を付け、除雪しておいてください。

## 除雪後の道路には雪を捨てないように。事故のもとです。

屋根からおろした雪や庭先の雪



などを道路へ絶対出さないください。交通妨害となるばかりか、事故のもとにもなります。なお、玄関先が除雪でふさがった際には各戸で手直しをお願いします。

## 道路沿いの大事な物には、壊されないよう必ず目印を。

へいや水門、お地藏様などが雪に埋まっていると、除雪で壊してしまうことがあります。これを防ぐため、道路沿いの施設などにはポールや竹ざお(高さ3m程度)に赤布の目印を付けておいてください。裏作農地の所も同様に。

## 個人の地下水融雪は禁止です 家庭では節水に努めましょう

地下水を利用した個人の融雪は、井戸枯れを防止するため昭和52年に設けられた「地下水保全条例」で固く禁止されています。

また、公益上必要な道路の融雪も、無制限に認められているわけではありません。春日公園の地下水観測井の水位が①5m以上6m未満のときは、夜間にかぎり必要に応じて使用できる②6m以上のときは、市長の承認を得て使用できる、と条件が付けられています。

11月28日現在の春日観測井の地下水位は、幸い4.91mにまで回復していますが、これから本格的な降雪期に入ることから、水位の低下が予想されます。今後、大幅な水位の低下を生じた場合、市ではその都度、新聞やチラシで情報をお伝えします。各家庭では、炊事や洗濯の際に水を出しっぱなしにしないなど、極力節水にご協力ください。

地下水は大野市民共有の掛け替えのない財産です。この冬も大切に使いましょう。

# 雪道には危険がいっぱい 運転者も歩行者も「慣れ」は禁物

冬は路面が凍結したり、降雪や積雪で見通しが悪くなるなど、運転者、歩行者ともに交通事故の危険がいっぱいです。けれど「雪とは長年の付き合い、慣れてるから大丈夫」と、高をくくってはいませんか。今一度、雪道の交通安全についてご確認ください。

## 運転者の皆さんへ

■圧雪や氷結路面での制動距離は乾いたアスファルト面での8倍にもなります。また、急ハンドル・急ブレーキはスリップの原因です。速度を控え、車間距離も十分に。

■降雪時、特に夜間は極度に見通しが悪くなります。交差点や横断歩道では必ず徐行し、安全を確認しましょう。また、夕方には、早めにライトをつけてください。

■雪道をバイクで走るのは大変危険です。極力、自粛を。

## 歩行者の皆さんへ

■左右の安全を確認しない横断や信号無視、左側通行は、冬に限らず事故のもとですが、特に冬は降積雪のため自動車運転者にとって見通しが非常に悪くなっています

## 無事故で年末、笑顔で新年

11日から年末年始交通安全運動

“奥越路 無事故でつなごう ゆく年くる年”を合言葉に、年末年始交通安全市民運動が今月11日から1カ月間展開されます。

年末から年始にかけては、何かとお酒を飲む機会が多くなります。この時期、車を運転する人に特に注意して頂きたいのが飲酒運転です。

お酒を飲むと、自分では酔っていないと思っていなくても、感覚

から、歩行者も交通ルールを守ってください。

■夜間外出するときは、明るい服装で、夜光反射材（ピカピカシール）を張った持ち物や長靴を使うようにしましょう。ピカピカシールは、最寄りの派出所・駐在所にあります。無料ですから、ぜひ活用ください。

■バイクと同様、雪道を自転車で走るとは大変危険。乗らないようにしてください。

は麻ひし、素早い判断や行動ができなくなっています。そんな時、降雪や路面凍結などの悪条件が重なったとしたら……。

「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない、飲ませない」の3原則で、ドライバー自身はもちろん、家族、地域、職場ぐるみで互いに注意しあい、無事故で年末を過ごし、笑顔で新年を迎えましょう。

# ストーブは「火種」です 取り扱いは慎重に

冬の生活にはストーブが欠かせませんが、使い方を誤ると火事の原因になります。

例えば「冬は洗濯物が乾きにくいので、ついストーブを使って乾かしてしまう」という具合に、危険と知りながらやってしまうのが現状ではないでしょうか。「キッチンとぶらさげてさえおけば……」と簡単に考えている人もあろうかと思いますが、ぜひ、次のようなことを知っておいてください。

ストーブの付近では、対流といって、下から上へ温かい空気が流

れています。乾いて軽くなった洗濯物は、この対流の風を受けて下へ落ちることがあります。もし、その洗濯物に火がつき、周りに燃え広がったとしたら……。「ちょっとだけだから」という油断が一番怖いのです。

やむを得ず、ストーブで洗濯物を乾かす場合は、ストーブの真上ではなく、2倍ほど横へ離し、必ず洗濯バサミなどでしっかり止めておきましょう。そして、長時間ストーブのそばを離れないようにし、もし離れるときには必ず火を

消しておきましょう。また、ストーブの周りに新聞や雑誌など、燃えやすいものを放置しないように。

使い慣れた器具でも、万が一を考えて、日ごろから十分注意して使いたいものです。



# この1年を

昭和63年もあとわずか。この1年を振り返ってみて、皆さんはいかがでしたか。

今年の話題は、何といても新有終会館の建設着工と全国水シボの開催、さらに総合病院誘致交渉の具体化でしょう。ほかにも多くの話題がありました。以下、大野市のこの1年を振り返ってみました。

## 市政日誌 '88

- 1 13日奥越地域リゾート  
月 開発推進連絡協議会初会合 15日成人式 21日市区長連合会、市へ総合病院設置要望書提出 27日市長、県知事などに大高移転改築要望書提出 31日常陸宮ご夫妻来市
- 2 11~14日六呂師高原雪  
月 まつり 17日21世紀の大野を考える会発足
- 3 6~9日いきいき大野  
月 テキスタイルフェア88 11日市議会議長に高津靖生氏副議長に松田庄二氏選任 13日越美北線新ダイヤで列車増発 19日童謡を愛する会発足 24日市議会に総合病院対策特別委を設置 28日蔵生小、ミニバス全国大会に出場
- 4 9~17日亀山さくらま  
月 つり 16日上庄中学校落成式 24日御清水改修完成祝賀会
- 5 16日シルバー人材セン  
月 ター設立総会 22日越前大野名水マラソン 25日ふるさと自然の家落成式
- 6 5日飯降山市民登山・  
月 市社会福祉大会 18日市農業後継者結婚相談員委嘱式・まちづくりシンポジウム

▼1月21日 市区長連合会が、市へ総合病院早期設置の要望書を提出



▼2月17日 各界名層から15人が集い、21世紀の大野を考える会発足



▲4月24日 名水百選の「御清水」が大改修を完了、関係者でお初汲み、



▲1月31日 中日スキー大会で常陸宮ご夫妻来県、市の聖和園ご訪問



3月19日 童謡を愛する会が発足、初の練習



▲5月16日 お年寄りも地域活性化へと、シルバー人材センター発足



5月25日 JR勝原駅の隣にふるさと自然の家が誕生

▲6月18日 農村青年の結婚対策で、市が相談員を委嘱

# 振り返って

▼6月27日 多田清氏を迎えて新有終会館の起工式。完成は来年5月末の予定



▲7月6日 義景公園で30年前の清水を発見。整備で第2の御清水に



▲8月6日 市民会館新装オープンを記念してエレクトーンの夕べ



▲8月11・12日 全国水環境保全シンポジウムが開かれ、真剣に意見交換



▲10月25日 17年の歳月をかけた広域基幹林道法恩寺線開通



▲11月2・3日 福祉ボランティア基金作品頒布会



▲11月5日 寂円禅師里帰り訪中の一団が大野を出発

今年も『市政おの』をご愛読いただき、ありがとうございました。新年号からは紙面を一新して再出発します。身近な話題や市政への要望・意見など、どしどしお寄せください。

FUKUI '88 19日真名川若鮎フェスティバル 27日新有終会館起工式

7月 6日義景公園で30年前の「清水」発見 9日市青少年健全育成推進大会 12日大野地区消防本部新庁舎起工式 16日六呂師小起工式 24～28日「大野少年の翼」訪中 23・24日真那姫湖畔まつり 24日健康づくり市民のつどい 29日南六呂師県営圃場整備完成式

8月 1日『歴史と史跡・大野』発行 6日市民会館新装オープン・エレクトーンの夕べ 8～16日おおの城まつり 11・12日全国水環境保全シンポジウム・七間朝市410年祭

9月 3日第1回ヤングフェスティバル 7～12日市長、長寿者慰問 8～11日市美展 13日商工会議所まちなみウォッチング・フォーラム

10月 4日水戸天狗党ウォーク大野入り 10日健康ウォーク 12日市総合リゾート開発協議会発足 22・23日三大朝市まつり 25日広域基幹林道法恩寺線開通式

11月 1日地下水注意報・総合文化祭(～3日) 2・3日福祉ボランティア基金郷土諸家有志作品頒布会 3日市政功労者表彰 6～13日寂円禅師里帰り訪中 17日県営奥越総合公園の基本計画と名称(奥越ふれあい公園)決まる 22日龍仙橋渡り初め

12月 (予定)4日市婦人のつどい 11日～年末・年始交通安全市民運動 下旬に『おおの体協のあゆみ』発行

# カルシウム不足にご注意

保健センターだより

現在の日本にはいろいろな種類の食品が大量に氾濫し、飽食の時代、グルメの時代といわれています。しかし、その反面、カロリーの過剰や栄養の偏りなどが健康管理面で問題となっています。そんな問題のうち、今回は、私たち日本人に不足しがちといわれているカルシウムについて考えてみましょう。

## 成人は1日0.6g必要

食べたいものはほとんど何でも口にすることができるほど、私たちの食生活は豊かになりました。しかし、カルシウムについてみると、成人が1日に摂取しなければならないとされている量、0.6gを下回っているのが実態です。日本の土壌はもともカルシウム分が乏しく、その土壌から採れる農作物のカルシウム含有量も西欧諸国に比べると少ないため、どうしても必要な量をとれないようです。

ところで、誰でも年をとるにつれて骨に含まれているカルシウムの量は減少してきますが、若いうちにしっかりした骨をつくっておかないと、最近よく話題になっている「骨粗しょう症」という病気にかかりやすいといわれています。この病気は、骨組織のカルシウムが減り、骨が変形したり折れやすくなるものです。

高齢化社会が進んで老人人口が増えるのに伴い、骨粗しょう症で苦しむお年寄りが増えてきています。こうしたことから、これか

らの健康管理は、成人病の予防・早期発見・早期治療とともに、骨の老化を防止することも重要になってきています。

## 牛乳でカルシウム補給を

栄養のバランスがとれた食事をしていても、私たち日本人にはカルシウムがどうしても不足がちになりますが、これを補うための最も手軽な方法としては、カルシウムの含有量が多く、吸収のよい牛乳を飲むのが一番です。

牛乳には良質なタンパク質やビタミンA・Bなども豊富に含まれており、栄養面でも素晴らしい食品です。ですから、牛乳を欠かさず飲むことは、骨粗しょう症を予防するばかりか、日常の健康管理面でも大変効果があります。1日当たり牛乳ビン1〜2本程度を飲むように心掛けたいものです。

また、牛乳が駄目な人は、代わりにヨーグルトやチーズを食べることをお勧めします。

カルシウムは骨や歯をつくるだけでなく、血液中で一定の濃度を保ちながら生命活動にいろいろ重要な役割を果たしています。ですから、老後の骨粗しょう症を予防し、健康な体で毎日を過ごせるよう、牛乳や乳製品をどんどん食べるようにしてください。飽食・グルメの時代の落とし穴に、くれぐれもご用心を。



## ⑫ 宝慶寺

宝慶寺は、昨年のみそかにNKNKテレビ番組「ゆく年くる年」で、今国のトップをきって放映されました。今年11月には宝慶寺開山寂円禅師里帰り訪中団が結成され、山内市長を団長に88名が寧波の天童寺などを訪ねました。

これらは、宝慶寺にとって画期的な出来事でした。特に後者は「ああ、郷里宋国洛陽に帰らん」と遺言して93歳で亡くなった寂円禅師が、中国を出てから760年ぶりの里帰りで、訪中団は各地で歓待を受けました。

訪中団のうち17名は僧職、20名は宝慶寺集落に住んでいた檀信徒でした。13日名古屋空港に着き、大任を果たした北野良道住職は、感激のあまり涙を流し声をつまら



せてあいさつにならなかったようです。

宝慶寺集落出身で、かつて中国に従軍したことのある、伊藤三代松さんは、奥様をはじめ一族4人と同行しました。伊藤さんは、寂円禅師の遺言が果たされたこと、市長さんの肝入りの団体が大歓迎を受けたこと、中国人が過去のことを忘れて笑顔で迎えてくれたことにとっても感激したそうです。

先週、檀信徒は雲水とともに雪囲い作業を終え、宝慶寺の建物はすっぽり雪に包まれていました。今年も実に多くの人々が、この修行の寺を訪ねました。(T)

## 休日健康診査のお知らせ

とき 12月11日(日)午前9時  
~11時30分と午後1時~3時  
※午前中は胃ガン検診も実施  
ところ 市保健センター  
対象 40歳以上の人で、健康  
診査の定員は100人、胃ガン  
検診は50人、いずれも先着順  
申込 保健センターへ直接電  
話(65-7333)で。手数料が必要



## 話題の 交差点

### 市農林業祭が開かれ 米消費拡大をアピール

第20回市農林業祭が11月12・13の両日、市民会館で開かれました。米市場開放の外圧が高まる中、何としても良質で安全な日本の米を守ろうと、今年に米消費拡大コーナーも「拡大」。『おいしいお米をたくさん食べてください』と、おにぎりや米ふかし、つきたてのもちが市民に配られました。



### イトヨも越冬準備 守る会などが雪囲い

11月20日、本願清水でイトヨ越冬用の雪囲いが行われました。池の底をさらに80センチ掘り下げた約50平方メートルの人工池の上に、杉丸太やヌキ(杉板)で屋根を作りました。作業に当たったイトヨを守る会の出口利栄会長ら6人は、慣れた手つきで約3時間ほどで仕上げました。



### 老人センター特別講座

とき 12月13日(火)16日(金)  
23日(金)午前10時~11時  
ところ 市老人福祉センター  
対象 どなたでも  
テーマ 新しい心の医学  
講師 原点医学会長・上原義貴さん(丹生郡越廼村)  
お問い合わせ・申し込みは老人福祉センター(☎66-2335)へ。

### 新堀川のコイが引っ越し 来春まで留守になります

11月16日、新堀川に放流されていたニシキゴイの引っ越しが行われました。新堀川は冬期間雪捨て場になるためこの引っ越しとなったもので、ふだんは優雅に泳いでいるコイも、この日は敏しょうそのもの。作業に当たった市の職員を手こずらせていました。



## 全国大会で金メダル

### 森目出身の松田栄三さん

森目の出身で、現在九頭竜ワークショップへ入所して働いている松田栄三さん(40歳)が、全国身障者スポーツ大会へ出場、金と銅、2つのメダルを獲得しました。松田さんは、肢体障害やり正確投げの部で81.92を投げて優勝、同400メートル競走(車いす)では1分47秒6のタイムで3位に入賞しました。

全国大会は10月29・30日の両日京都市で開かれましたが、その3カ月前に開かれた県大会では砲丸投げに出場しました。そのとき腕っぷしの強さが認められてやり投げへの転向を勧められたのだそうです。やり投げも車いす競走も、ともに

腕の筋力が決め手です。特に脊髄(せきずい)損傷で下半身マヒの松田さんにとっては、腕以外に頼るところがありません。練習も大会当日もずっと付きっきりで励ましてきた指導員の石井さんも、「彼はひたすら筋力のアップに努めました。メダルはその努力のたまものです」と、とてもうれしそうでした。



左から松田さん、石井さん



## 保育所入所申し込み 27日まで受け付け

来年度の保育所入所申し込みを次のとおり受け付けます。

**入所資格** 原則として、昭和63年9月30日以前に生まれ、保護者のいずれもが仕事や病気などで保育できない家庭の乳幼児

**受付期間** 12月1日(木)～27日(火)

**手続き** 市福祉事務所または最寄りの保育所にある「入所申請書」に必要事項記入の上、関係書類を添えて提出

**入所決定** 面接と調査を行い、3月上旬に文書で入所の可否を通知

保育所名

〈公立〉北部(中荒井町1)・義景(泉町)・春日(春日1)あかね(中野町1)・荒島(蔵生)・六呂師(南六呂師)

〈私立〉いとよ(清和町)・上庄(稲郷)・いなやま(春日2)誓念寺(錦町)・亀山(水落町)・開成(新庄)・誓念寺中野(中野)・篠座(篠座)

詳しくは福祉事務所児童係(☎66-1111内線476)へお問い合わせください。

## 家屋取り壊し後は 税務課へ届け出を

63年中に建物を取り壊した人は12月24日(土)までに「家屋滅失届」を市税務課資産税係(☎66-1111内線426)へ提出してください。届出用紙は同資産税係にあります。

届け出がないと、引き続き固定資産税がかかることがあります。ご注意ください。

## 4日～10日は人権週間

法務局大野支局(☎66-2249)と大野地区人権擁護委員(下記)は、家庭内や近隣とのもめごと、騒音・悪臭などの公害、その他不当な差別扱いやいやがらせ、いじめなど、いろいろな悩みごとについていつでも相談に応じています。

また、次のとおり、毎月1回定期的に人権擁護委員による「人権悩みごと相談」を行っています。

### 人権悩みごと相談

〈日時〉毎月20日の午後1時30分～4時(ただし、20日が土・日曜日のときは、次の週の月曜日)

〈場所〉市役所

### 人権擁護委員(敬称略)

- ▷大門 俊我(錦町・66-2791)
- ▷中村 定一(不動堂・67-1893)
- ▷田中安藝子(天神町・66-4039)
- ▷井尾治郎左エ門

## ヤングテレホン 青少年の悩みごとは

# 88-1004

## 記念句集を発売した

大野市農協  
文化クラブ **荒島句会**

大野市農協の文化クラブ「荒島句会」が発足して、今年10年目を迎えました。句会ではこれを記念して、句集「荒島」を発売しました。



荒島句会は、昭和54年に農協が文化活動の一環として俳句講座を開いたのがきっかけで、生まれたクラブです。以来10年間続けられ毎月の句会も82回を数えました。句集は故人のものも含め、17人の会員からそれぞれ21句ずつを選んで掲載してあります。

「田のすみの菖蒲は母の形見かな」「冬めくや里のあちこち新つぐら」

どの句もえりすぐられたものだけに、その情景が目の当たりに浮かびます。農家の人は自然相手の仕事だけに、四季の移り変わりには特に敏感なのかも知れません。

現在の会員は16人で、

## グループ登場

毎月1回第2火曜日の夜、農協会館で例会を開いています。例会では前月に提出しておいた各人の句を批評しあったり、即席で作った句を披露しあいます。

会長の前田路花さん(中野・64歳)は創立当時からの会員で、「汽車の中でポケットにつっこんだ手の指を五・七・五と折っている自分を発見する時、つい苦笑してしまう」と話しておられました。

年会費は6,000円で、入会自由です。

(佐 開・65-8215)

▷明石 禮子(中津川・65-5560)

いずれの相談も費用は無料で、  
相談者の秘密は固く守られます。

## 市営バス小山線運行

開成中学校スクールバスを利用した市営バス「小山線」を、今冬も12月1日から来年3月31日まで運行します。

乗車券・回数券は、市役所生活環境課(☎66-1111内線462)または小山公民館(☎66-2468)でお求めください。

なお、日曜日・祝日と学校の休校日は運休します。

## クリスマス料理教室

クリスマスの食卓を、手作りの料理で豪華に演出してみませんか。大野地域職業訓練センターでは、次のとおり料理教室を開きます。

**日 時** 12月24日(土)午前10時～正午

**会 場** 職業訓練センター(☎65-6840・市農協会館前)

**内 容** クリスマス用オードブル。  
作った料理は、各自3人前ほど持ち帰りになります。

**定 員** 25人

**受講料** 2,000円(材料費含む)

**申し込み** 12月17日(土)までに、  
受講料を添えて同センターへ。定員になり次第、締め切ります。

## 事業所で働く人は すべて社会保険に

今年4月1日から、すべての法人事業所で働く人は、健康保険と厚生年金保険に加入しなければ



## 「二十歳の声」をお寄せください



来春、成人式を迎えられる皆さんから「二十歳の声」の論文を募集します。応募要領は次のとおりです。フレッシュなご意見を、どしどしお寄せください。

**テーマ** 二十歳の抱負、私の訴えたいこと、私の選んだ道  
同世代への提言、ふるさと大野の魅力と課題、など、  
新成人としての感想・意見

**字 数** 400字詰め原稿用紙(縦書き)5枚以内

**期 限** 昭和63年12月26日(月)

**提出先** 市教育委員会社会教育課(天神町6-34 ☎66-1111内線184)または最寄りの公民館へ

応募者全員に記念品が贈られるほか、入賞者を成人式の席上で表彰します。

らないことになっています。

まだ加入手続きを済ませていない事業主の人は、今すぐ手続きをしてください。

福井社会保険事務所(福井市手寄2丁目1-34 ☎0776-23-1002)では、毎月第2水曜日の午後1時から、加入手続きなどの事務説明会を開いていますので、ぜひご参加ください。

## 国民年金は人生の土台 保険料の完納にご協力を

国民年金は法律で定められた制度で、任意加入対象者(60歳以上65歳未満の人や20歳以上の学生など)を除き、個人の意思に関係なく全員が強制加入となっています。ところが最近、故意に国民年金の保険料を納めない人がいます。再三の催告、督促などにも応じない場合には、社会保険事務所により財産の差し押えなどの強制執行がなされることもあります。ご注意ください。

国民年金は、だれでもが安定した老後を送るための生活設計の土台であるとともに、皆さんの保険料が年金を受けている人々の生活を

支えているのです。

このような年金制度をご理解の上、国民年金保険料の完納をお願いします。

## 大野准看護学院生徒募集

大野准看護婦学院では、来年度入学する生徒を募集しています。

同学院は昭和38年4月に発足、これまでに231人の卒業生を送り出し、現在は21人が学んでいます。近年は県外からの応募者も多数ありますが、地元市民を優先採用しますので、奮って応募ください。

**募集人員** 15人

**入学資格** 中学校卒業以上の学力を持つ人(高卒以上が望ましい)

**受付期間** 12月末日まで

**提出書類** ①入学願書②履歴書③健康診断書④戸籍抄本⑤卒業証明書または卒業見込書⑥成績証明書⑦写真(4㌘×7㌘)※①と②の用紙は学院に用意してあります

**提出先** 〒912 大野市篠座117-6-1 大野准看護婦学院(市保健センター隣☎66-4671)

**入学試験** ▷試験日時…願書提出者に直接通知▷試験科目…中学卒業程度で国語・理科(生物)の2科目と面接

**修業年限** 2年

市役所テレホンサービス  
週間行事予定は

65-8000

# 市民カレンダー

12月10日～12月24日

## 市民のうごき (11月1日現在)

	対前月比	10月中の異動
人口	42,550人 (+22)	転入 65人
男	20,418人 (+14)	転出 57人
女	22,132人 (+8)	出生 43人
世帯数	11,285戸 (+1)	死亡 29人
		結婚 30組

10(土)	世界 人権デー	九頭竜ワークショップ冬まつり(～11日) 9.00～	九頭竜ワークショップ
11(日)		ガソリンスタンド当番 カワイ春日, 休日健康診査 9.00～11.30 13.00～15.00	赤尾中野, マルカ 保健センター
12(月)		糖尿病教室 9.00～10.30 飲酒運転追放宣言大会 18.00～	保健所 市役所
13(火)		交通事故相談 10.00～15.00 一般健康相談 13.00～14.30 金融相談 13.00～16.00	市役所 保健所 商工会議所
14(水)		一般健康相談 9.00～11.00 結婚相談 10.00～15.00 行政相談 13.00～16.00	保健所 大野公民館 図書館
15(木)	年賀郵便 特別扱い	心配ごと相談 9.00～12.00 婦人悩みごと相談 13.00～15.00	市役所 市役所
16(金)		母子健康相談 13.00～14.30 高齢者職業相談 13.00～16.00 法律相談 13.00～16.00	保健所 富田公民館 商工会議所
17(土)			
18(日)		ガソリンスタンド当番 酒井春日, 農協花山, 大建	
19(月)		経営相談(工業) 13.00～16.00	商工会議所
20(火)		社会保健・年金相談 10.00～15.00 一般健康相談 13.00～14.30 人権悩みごと相談 13.30～16.00	織物組合 保健所 市役所
21(水)		献 血 10.00～15.00 一般健康相談 9.00～11.00 結婚相談 10.00～15.00	福銀大野支店 保健所 大野公民館
22(木)	冬 至	心配ごと相談 9.00～12.00 法律相談 10.00～15.00	市役所 市役所
23(金)		母子健康相談 13.00～14.30 高齢者職業相談 13.00～16.00	保健所 上庄公民館
24(土)	クリスマス イ		

## 公給領収証を忘れずに

料理店や飲食店、旅館などを利用した時には、必ず「公給領収証」を受け取りましょう。公給領収証を受け取ることで、みなさんが支払った料理飲食等消費税が確実に県へ納められ、税は県民福祉の貴重な財源となります。

麻しん予防注射	13.00～14.30	保健センター
健康体操教室	13.00～15.00	保健センター

後期離乳食指導	13.00～14.30	保健所
2回目インフルエンザ	13.30～14.30	保健センター

## 今月の納税

固定資産税 第3期分

26日までに納めてください。

発行 福井県大野市

編集

企画広報課(電話 076-1111)

印刷 榎松浦印刷



全国に先がけて生涯学習都市宣言(市民の幸せと、健康とを意欲的に進めていこうという宣言)を高らかに掲げた静岡県掛川市といえは、まっ先に榛村純一市長の名が浮かぶ。氏は生涯学習にかけての理論と実践の先駆者である▼先月、そのおひさまとより市会議員十数名が大野市を訪れ、生涯学習についての気楽な意見交換会を行った。私も話題提供者の一人として参加させてもらった▼特に心に留まった発言を紹介しよう。「大野市でやっている数多い講座や活動は、今どこの住民でも強く求めている大事な生涯学習の一つです。問題は、行政や民間が個々ばらばらのレベルで事業を消化していくのではなく、全体を総合的に眺める窓口が必要。また、市民の中にはやる気があっても参加の仕方がわからないという人も意外と多いものです。テレホン・広報等の情報を駆使して、市民の相談にのる仕組みを工夫していかないと、せっかく企画したものが生きて働かなくなります。さすがに真髓をつとところが本場の議員である▼大野市でも生涯学習に心ある同志が集まって、市の現状と反省、今後の方向と具体的な内容について語り合う会が進められている。だれにもしぼられないで、のびのび語り合ってみることは、きっとこれからの大野市政にいい方向を見出す原動力になることは確かである。大いに期待したいものである。(K)